



平成26年度 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

平成27年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 自治会活性化事業	自治会法人原宿自治会	自治会が主体となって高齢者の健康づくり、生きがいづくり、憩いの場づくりを実現することにより、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。	シニアサロンの開催(月1回) 内容 午前はキーボードとアコーディオンの伴奏による歌のつどい 午後は落語会、コンサート、般若心経	3年間にわたり本事業を継続したことで、高齢者の定例的な集いの場として定着してきており、毎回約60名の参加者がある。このサロンに1回以上参加した方は200名を越え、3年間1度も欠席することなく参加した方もいた。	原宿自治会では、高齢者の拠り所となる場所をつくることは、自治会の役割の一つであると考えており、本事業が徐々に地域に定着してきていることは大きな成果であったと評価している。 来年度以降も、これまでと同様に事業を継続させていきたい。	H26.5.30	600,000
2 地域の文化振興と青少年の健全育成事業	特定非営利活動法人城山スポーツ&カルチャークラブめいぶる	城山地区には、公民館を中心として100を超える文化サークルが活動している。この個々のサークル活動を互いに認め合い、サークルが一堂に会して活動成果を披露しあい、交流することで“点”の活動を“線”“面”の活動に転換させ、また、その活動に青少年の育成も絡めることにより、各活動への参加者の増加を図って地域を活性化させるとともに、地域の文化インフラのランドマークとして、もみじホール城山を定着させることを目的とする。	第1回しるやま文化発表会 9月28日(日) 参加者284名 第2回しるやま文化発表会 3月8日(日) 参加者123名 相模原「宇宙の学校」セミナー 12月23日(火) 参加者16名 相模原「宇宙の学校」体験教室 2月14日(土) 参加者51名 事業協力団体 文化発表会 8団体 宇宙の学校 6団体	住民が一つになって、いろいろと考える機会が必要なことであるという認識が芽生えた。 親子の絆に対する想いの強い方々にとって、最適な体験プログラムを提供することができた。 私たちの団体の知名度も、活動理念とともに拡がりを見せていることが感じられた。	参加者からは、「城山でこのような話を聞くことが出来るとは思わなかった」「元気が出てきた」といった前向きな感想が多数寄せられており、イベントそのものは成功であったと評価している。 参加者の半分以上が城山地区以外の方々であったが、良いイベントには人が集まるということが再確認でき、今後の取り組みでその発展を考えていきたい。	H26.5.30	640,000
3 地域の防災・防犯に関する事業	自治会法人小松自治会	地域住民の防犯意識を高め、犯罪「ゼロ」を目指し、こころ豊かで明るく住みよいまちづくりの一翼を担うことを目的とする。	地域の生活環境の美化を進めることが防災・防犯に効果的であるとの思いから、ポイ捨て防止、河川の清掃、防犯パトロール、防犯灯の点検などを、住民の協力を得ながら実施した。特に青色回転灯の搭載車による防犯パトロールは効果的であり、犯罪による被害は大きく減少した。また、美化キャンペーンなどにより、ポイ捨てのごみも半分以下になった。	地域住民に対し、防犯パトロール活動や地域清掃活動等の活動状況を刻々と提供し、情報の共有化を図ったことにより、活動に対する建設的な意見や提言をいただくなど、住民の意識は変わりつつある。 その成果は地域の生活環境の美化に表れており、発生した犯罪も、前年度と比較して激減した。	事業の目的である、「地域住民の防犯意識を高め、犯罪ゼロを目指し、心豊かで明るく住みよいまちづくりの一翼を担う」ということへの方向付けができたことは大きな成果であったと評価している。 概ね計画どおりに実施できたとはいえ、満足できる状態ではないと反省している。夜間パトロールは実施予定日が不確定で、相当無理があったなどの課題もあり、次年度はたくさんの住民の皆さんに参加をいただけるような工夫をしていきたい。	H26.5.30	156,000
4 しるやま得の市～久保沢の市～	しるやま得の市実行委員会	城山地区で唯一、商店が集積している城山総合事務所前の人通りが少なくなっており、一昔のにぎわいが失われ、地域に活力が無いように感じられることから、「しるやま得の市～久保沢の市～」を開催し、城山総合事務所前道路沿いのにぎわいを創出することを目的とする。	第1回 日時:9月28日(日)10:00～13:30 場所:城山総合事務所前道路 出店者数:33店舗 来場者数:約3,000人  第2回 日時:3月22日(日)10:00～13:30 場所:城山総合事務所前道路 出店者数:32店舗 来場者数:約2,500人	久保沢地域福祉推進会議と連携した「ふれあいカフェ～ミニコンサート～」には多くのご年配の方々が来場され、肩を寄せて歌や踊りを見入っていた。 赤十字血液センターと連携し献血を行ったところ、43名の方にご協力いただき、多くの血液が確保されたことで、社会的貢献をすることもできた。 イベント終了後に各店にアンケート調査を実施したところ、商品・サービスのPRや販売が出来ているとの結果が出た。	当イベントが商業者及び地域住民を巻き込んだイベントとなったことは大きな成果であったと評価している。 しかし、まだまだ当イベントの知名度は低く、今後も広く周知し続けることが必要であると考えている。	H26.5.30	554,000

	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
5	つくいりリング職業体験事業	つくいりリング実行委員会 職業体験委員会城山支部	青少年達の職業体験を通じて、来場者親子に地元企業の活動などを周知し、地域産業の活性化を図るとともに、青少年達と地域住民との交流を図ることを目的とする。	開催日:11月16日(日) 会場:県立津久井湖城山公園水の苑地 来場者数:10,000名(内職業体験参加人数:106名) 内容:職業体験の実施、特産品の展示販売・飲食の提供(15店舗)、高校生等によるステージイベント(10団体) 広報:タウンニュース、ポスター、チラシ配布、ホームページ	青少年達の職業体験を通じて、来場者に地元企業の活動などを周知したことにより、地域産業の活性化を図ることができた。 津久井湖城山公園水の苑地と津久井地域間でバスの運行を行い、津久井地域全域の住民の方々が参加しやすい交通手段を提供したことにより、多方面から多くの方々に来場していただくことができた。	青少年達の職業体験を通じて、地域産業の活性化を図ることができたことは大きな成果であったと評価している。 今後は「つくいりリング職業体験」を、城山、津久井、相模湖、藤野と広域に広げ、さらなる地域産業の活性化のきっかけづくりを行っていきたい。また、この事業が私たち職業体験委員会の一大イベントとなり、地域で共に活動している他団体にも波及することを願いながら、この事業を展開していきたい。	H26.9.18	150,000
6	しるやま安心袋配布事業	城山地域ケア会議	周囲とのかかわりを持たない高齢者等への声かけ、見守り活動を通じて、周囲とのかかわりを持たず孤立死する高齢者を出さないことを目的とするとともに、地域コミュニティの再構築や、地域団体間の連携強化による地域の活性化を目的とする。	周囲とのかかわりを持たず孤立死する高齢者を出さないために、ホイッスル、懐中電灯、あんしんカードなどをセットにした「しるやま安心袋」を650個作成し、ひとり暮らし高齢者等戸別訪問事業のリストに基づき、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に配布を行った。 「しるやま安心袋」の作成に当たっては、障害者デイサービスセンターつくしの家の協力を得るとともに、配布に当たっては、全面的に民生委員の協力を得て行った。	ひとり暮らし高齢者等戸別訪問事業の実施に合わせて行ったため、民生委員さんからは、訪問の際の話題を作ることができたという感想をいただいた。また、個別訪問事業そのものは拒否したものの、「しるやま安心袋」は受け取ってくださり、その後の支援につながったケースもあった。	配布をきっかけとして、これまでに訪問できなかった方とのかかわりを作ることができたことは大きな成果であったと評価している。 今回は対象をひとり暮らし高齢者としたが、日中独居、高齢者世帯、障害者のひとり暮らし等、見守りが必要と思われるケースに対しての配布希望があるため、各機関との協力・連携体制を構築しながら、そうした希望に応えていきたい。	H26.7.28	280,000
7	自治会加入促進事業	城山地区自治会連合会	地域コミュニティの基盤である自治会の活動を積極的にPRし、自治会の加入者増加と活動の活性化を図る。特に防災活動を活発に行い、いつ起こるか分からない災害に対応できる「地域の力」を高めることを目的とする。	啓発活動 8月16日(土):小倉橋灯ろう流し 10月19日(日):城山もみじまつり 11月3日(月):福祉のつどい・鎮守の森手づくり市 11月15日(土):城山地区敬老事業 啓発物品 うちわ、緊急用給水バッグ、ウェットティッシュ、お茶	城山もみじまつり パネル展示、アンケート調査、啓発物品の配布によるPR活動を行った。パネル展示では、自治会で取り組んでいる防災活動の写真を展示し、アンケート調査では、防災に関する意識を調査した。 それ以外の各種行事 啓発物品の配布によるPR活動を行った。	地域の皆さんが日ごろから関心を持っている防災を取り上げたことは、自治会への理解を深めていただく点で効果があったと評価している。 城山地区全体としては自治会加入者は増加していないが、単位自治会の中には増加している自治会もあるので、今後も加入促進に取り組みながら、高齢者等の脱会防止にも取り組んでいきたい。	H26.7.28	120,000
								2,500,000